

## 2017年度（2018年3月期）第2四半期決算説明会における主な質疑応答

※ 説明会での質疑応答をそのまま書き起こしたのではなく、簡潔にまとめております。

【会社全体に関するご質問】

<天神エリアの再開発について>

Q 本年9月に発表された、天神明治通り地区の「航空法による建築物の高さ制限の緩和」に伴い、今後、同エリアでの建替えて期待できることについて伺いたい。

A ・ 空間にゆとりを持つ魅力的で高機能なビルを建てることが可能となり、用途の選択枝も広がったと考えられる。

Q ビル建替えの考え方について伺いたい。

A ・ 基本的な考え方は「アジアで最も創造的なビジネス街」に相応しいオフィスビルである。単に機能的であるだけでなく創造的であること。アジアを行き交う人々が福岡で起業しビジネスの拠点として相応しいオフィスビル、というコンセプトを全体的に貫きたい。  
・ 商業関係については、天神の魅力である周辺の商業エリア(大名・今泉・西中洲)との回遊性を向上させ、天神地下街とのネットワークをさらに高めて賑わいを作っていきたい。

Q 旧大名小学校跡地の開発では、取得された隣接地や西鉄グランドホテルを含めた提案をされるのか伺いたい。

A ・ 提案についてはコメントを差し控えたい。  
・ 少なくとも旧大名小学校跡地が開発されることによって、隣接した当社の物件も幅広い用途での事業性が見込めると考えている。

<インバウンドの取り込みについて>

Q 博多港のクルーズ船による訪日外国人が増加しているとの説明があったが、西鉄グループとして今後どのようにして取り組んでいくか教えてほしい。

A ・ 当社グループでは、九州島内の高速バスおよび一般路線バスが乗り放題の「SUNQパス」という乗車券を販売しており、前期比約2.5倍売れている。ご家族連れなど少人数での旅行でご利用のようだ。確かにクルーズ船は団体のお客さまが多いが、少人数のご旅行も今後増えてくることも考えられ、当社グループにとってはお客さまが増えるチャンスが広がったという認識である。

【各事業に関するご質問】

<国際物流事業に関して>

Q 半導体関連などの取扱数量の増加傾向は下期以降も続くと見込んでいるのか伺いたい。

A ・ 昨年の後半から日本を含め世界各地で取扱数量の増加が続いており、下期以降においても自動車関連では米国や中国、エレクトロニクス関連では、半導体や半導体製造装置関連投資の増加を背景として、アジア域内での取扱数量の増加を見込んでいる。

Q 主な増益要因は航空貨物の取扱数量の増加ということだが、海運貨物の取扱数量の増加は利益に貢献していないのか伺いたい。

A ・ 航空貨物だけでなく海運貨物の取扱数量増加も増益に貢献している。  
海運貨物については組織体制を強化しており着実に伸びている。

<ホテル事業に関して>

Q 新しいホテルが立ち上がっているが、いつごろから増益となると考えているのか伺いたい。

A ・ 今年度は、韓国ホテルの2店舗が北朝鮮情勢の影響や、立ち上げ期ということもあり、利益に貢献はできていないが、今後確実に利益は増加していくと考えている。

以上